

第883号  
 2020.7.28(火)

# 夏休みはハギハッキョ!

来週から夏休みに入り(ウリハッキョはすでに入っていますが)いよいよ3日からハギハッキョが始まります。

毎年参加する子供たちはかなり前から「ハギハッキョはいつから始まるの?」「ハギハッキョがある日は必ず参加するよ!」ととても楽しみにしていました。

日本小学校在学生と幼稚園年長組を対象に行われるハギハッキョはウリマルの勉強が毎日行われるほか、午後には日替わりで様々な楽しいイベントが予定されています。コロナ禍でなかなか出かけられない子供たちにとってハッキョのソンセンニムやチョチョンのヒョンニン・ヌナたちといろいろな体験ができるハギハッキョは夏休みのいい思い出になるはず。今年は特別に最終日の8日には会津・中通・浜通の各ハギハッキョに参加している子供たちが一堂に会して合同ハギハッキョを行います。みんなが集まってのウリマル勉強の他に水遊び大会を行い、昼食には流しそうめんをします。1日だけの参加でも大丈夫です。県内の子供たちが集まって楽しい夏の日が過ごせればいいかと思えます。

中通地域のハギハッキョは古墳公園での勾玉作り、ムシテックワールド、スペースパーク、郊外の大きな公園での遊び、DVD鑑賞など楽しいことが盛りだくさんです。必要なら送り迎えもするので遠慮なく声かけてくださいね。

## 幼保無償化適用を・「多種多様」を問う 多文化共生、率先する民族教育

安倍首相は昨年10月の所信表明演説で、みんな違ってみんないい、これからの日本に求められるのは多様性などと述べた。多種多様な社会を目指すと言いながら、一方で実態調査も行わないまま「偏った教育を行っている」との理由で朝鮮幼稚園をはじめとした外国人学校を幼保無償化の対象から外した。言っていることとやっていることが明らかに矛盾している。

日本の政教関係の歴史をたどると、「公共宗教」を日本の土着の宗教である「神道」のみにして、近代国家を作り上げようとした。明治に始まった国体思想は「大日本帝国憲法」と「皇室規範」に基づいて全国民を天皇の「臣民」として支配下に置いた。「穢多・非人」、「アイヌ」、「琉球」、「在日朝鮮人」は近世的身分制の中で最下位に位置付けられた。

明治6年発行以降の有司専制は身分制における貴賤観を一貫して持ち続けている。平等、身分制撤廃、基本的人権を口で言いながら、一方では「差別問題」などが社会レベルで根強く生き続けている。天皇を貴い存在とするには、賤しい存在が必要だからだ。アイヌ、琉球、そして在日朝鮮人も最下層として、人を人として扱わない政策が続いてきた。朝鮮学校差別に関しては、過去に国連人権委員会は日本政府に6回にわたり厳しく勧告してきた。2019年2月には国連子どもの権利委員会が日本政府は朝鮮学校をほかの外国人学校と同等に扱うべきだと記者会見の場で述べたが、いまだに差別は是正されていない。

母国語を勉強するとき、はじめて民族的アイデンティティーが覚醒する。一方、3世、4世が母語を学ぶことはその社会で主体的に生きていくうえで大事な条件だ。朝鮮学校ではその両方をしっかりと教えている。バイリンガル教育を身につけながら、民族性を育み、高等教育に寄与している。日本、世界において有為たる人材を排出し、権利の主張、平等への向上心への導線となろう。日本社会で多文化共生、多様性を率先して実現していることは日本の学校教育では培えない傑出した教育課程である。こうした学校が増えることが国際的に日本の孤立化を防ぐ良き先例にもなろう。(朝鮮新報 7月27.29日合併号より抜粋)

29	30	31	8/1	2	3	4
水	木	金	土	日	月	火
			ハギハッキョ開始			